

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		消防団施設維持管理事業		担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4506	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり		根拠法令 個別計画等	・ 深谷市消防団条例				
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		各地域住民の安全・安心を守れるよう、消防団活動拠点としての中心施設である消防団車庫を維持管理することによって、災害発生時に各地域の即戦力となる消防団体制を維持するものである。								
目的 ※何のために		各地域住民の安全・安心を守るため。								
対象 ※誰・何を対象に		深谷市消防団第1～25分団の分団車庫（深谷南支団：第1～6分団 深谷北支団：第7～12分団）								
手段 ※どのように		消防団施設の維持管理を行う。								
成果 ※何を求めるか		災害発生時に各地域の即戦力となる消防団体制を維持するものである。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防団施設維持管理事業	2,513,728
本事業の 主な業務		・ 消防団施設の維持管理							・	
		・ 施設の水道光熱費							・	
		・ 浄化槽保守点検、清掃業務、法定検査							・	
		・ 車庫等補修修繕							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	4,491,000	3,565,000	3,115,000	3,811,000	2,837,000	3,208,000
	決算額	3,940,528	3,011,012	2,933,345	3,419,376	2,513,728	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	3,940,528	3,011,012	2,933,345	3,419,376	2,513,728	3,208,000
人件費	従事職員数（人）	0.75	0.75	0.75	0.75	0.65	0.70
	人件費相当試算※	5,834,250	5,836,500	5,895,750	6,102,000	5,045,245	5,691,944
総事業費試算		9,774,778	8,847,512	8,829,095	9,521,376	7,558,973	8,899,944

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	団施設修繕件数	目標値	件						
		実績値		6	3	7	7	8	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		修繕件数は、意図的に定めることができないため、目標値を定めることはできない。 / 当該年度実績						
	実績値の算出式								
成果指標 1	瑕疵による消防団車庫の機能 停止件数	目標値	件	0	0	0	0	0	0
		実績値		0	0	0	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		瑕疵による消防団車庫の機能を停止させないことが適正なため、目標値を0とする。 / 災害時の実績						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	旧耐震基準で建設された消防団施設の建て替えに必要な事業規模（建物規模、敷地規模、建物構造、総事業費等）の検討を継続して行う。
達成状況及び その効果	地域防災に欠かすことのできない存在である消防団を将来に渡り維持していくとともに、消防団が活動しやすい体制づくりと組織の強化を図るため、消防団の活動状況等を調査し課題等を整理することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防団施設維持管理事業	担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4506
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>各地域の災害活動拠点となる消防団車庫の機能が維持できるように、定期的な点検を行い不具合が発生した場合には必要に応じて修繕を行う必要がある。また、旧耐震基準により建築された消防団車庫（6施設）や老朽化が著しい消防団車庫については、耐震化に向けた検討を実施しなければならない。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	次長兼消防総務課長 齊藤新一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	旧耐震基準で建築された6つの消防団車庫をはじめ、経年により老朽化した消防団車庫の建て替え等について消防団との協議方針を決定する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	（仮称）消防団車庫耐震化計画の策定に向けた消防団との協議が必要となる。 また、既存の消防団車庫敷地は狭隘なため、機能を維持した建て替えが不可能である。このことから、消防団車庫機能を維持した建て替えは、新たな計画地を選定する必要がある。

8. 評価指標グラフ

